

ActSecure クラウドセキュアファイルサービスご紹介

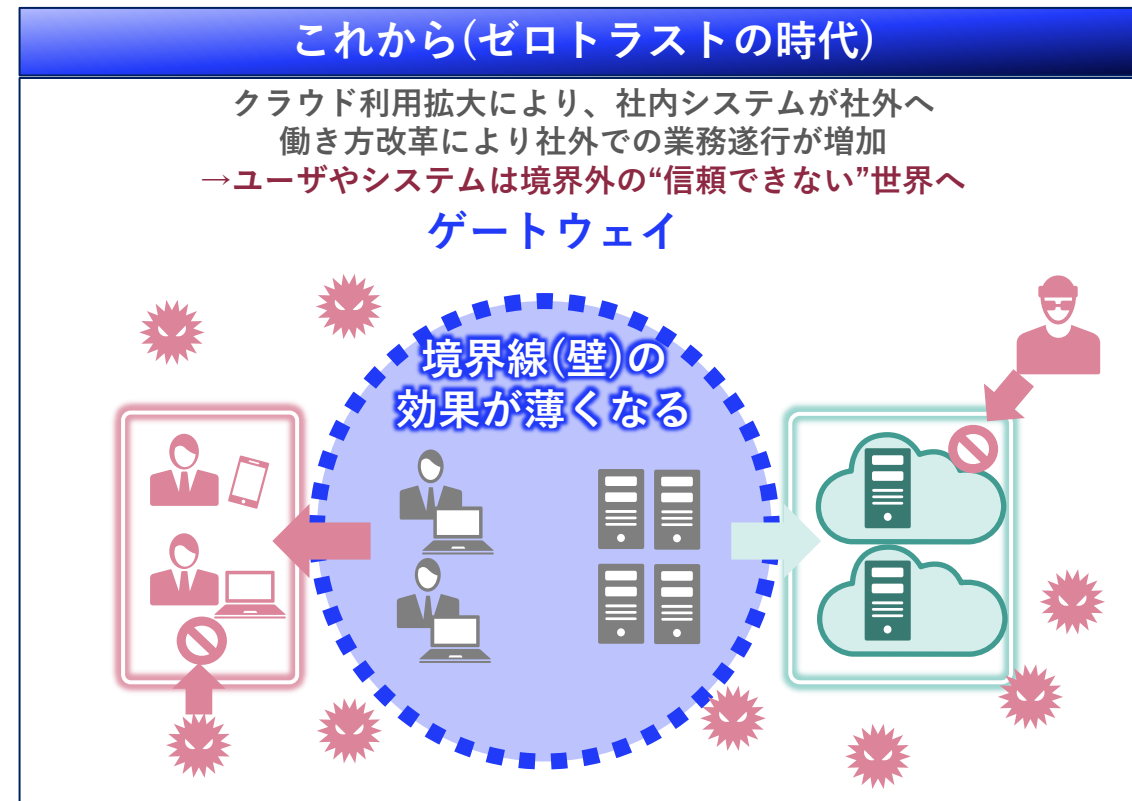
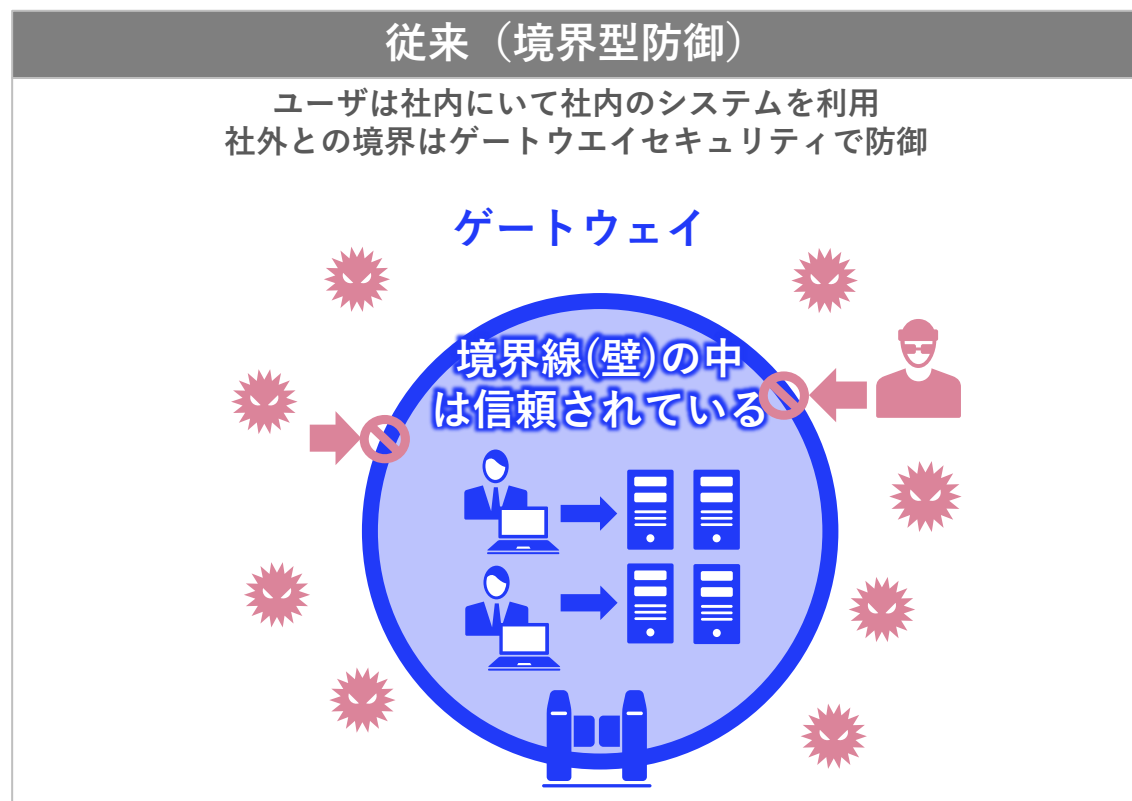
日本電気株式会社

1. ファイル暗号化の動向
2. ActSecure
クラウドセキュアファイルサービスご紹介
3. 簡易導入支援メニュー

1. ファイル暗号化の動向

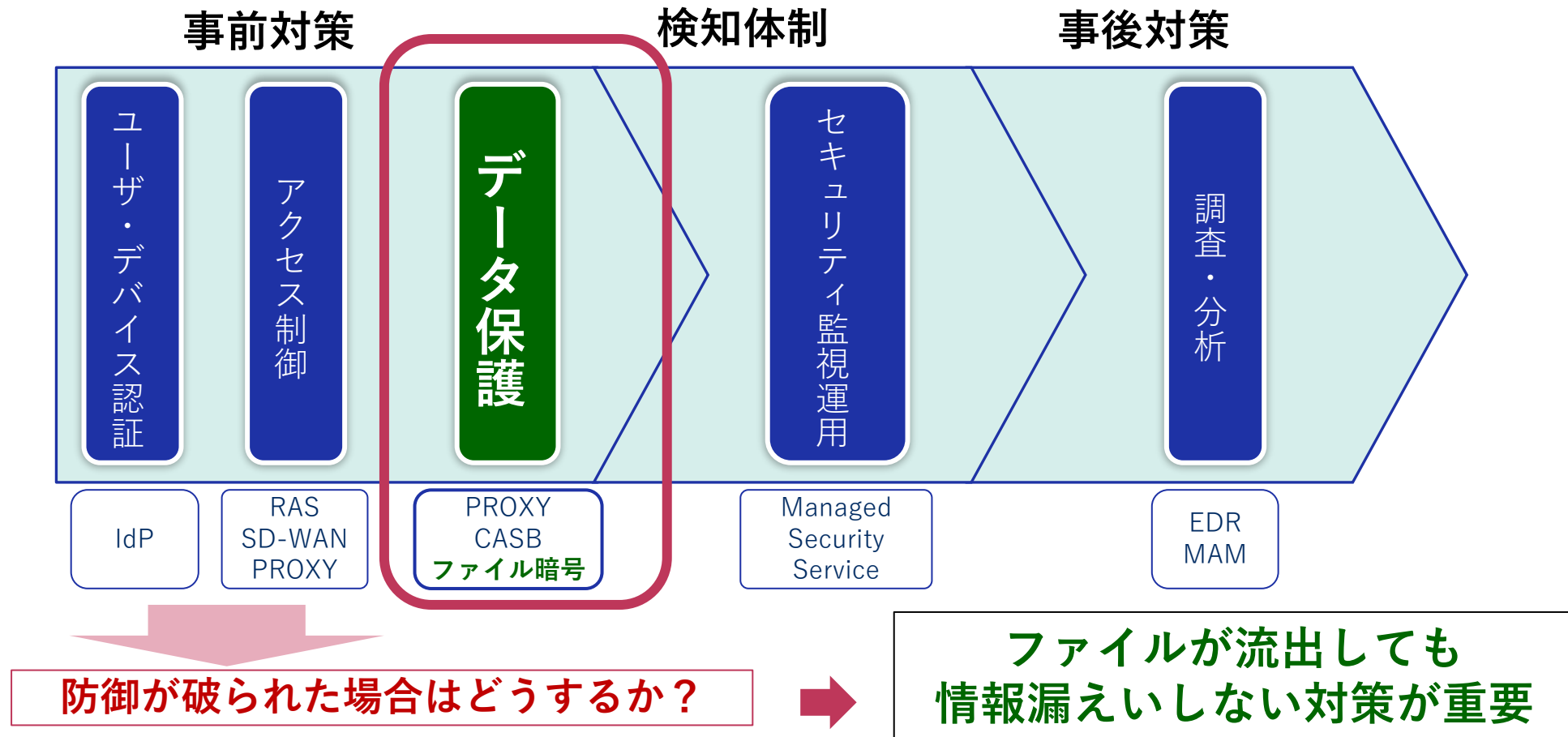
ゼロトラスト時代の新たな課題

- ◆ クラウドサービス利用拡大やリモートワーク増加により、ユーザやシステムが境界外の“信頼できない”領域にさらされています。境界線（壁）が薄くなったゼロトラストの時代においては、利便性を維持しつつ機微な情報の情報漏洩対策の両立が必要です。



ゼロトラスト時代の情報漏えい対策

- ◆ ゼロトラストでの情報漏洩対策は「事前対策」「検知体制」「事後対策」の多段対策が必要不可欠。
- ◆ 防御が破られた場合の最後の砦としてのデータ保護が重要。



ファイル暗号化の動向

- ◆ 標的型攻撃や不注意による情報漏えいの脅威が絶えなく、官・民における各種指針で機微な情報へのファイル暗号化について軒並み言及。

対象	指針	発行/改定
各府省	『政府情報システムにおけるクラウドサービスの利用に係わる基本方針』 ⇒データやデータベースについても、 機微な情報については暗号化 を行うものとする。	各府省情報化統括責任者連絡会議決定 令和3年3月30日
行政機関及び独立行政法人等	『政府機関等の情報セキュリティ対策のための統一基準（令和5年度版）』 ⇒当該情報に対し、 暗号化による保護 を行うこと。	NISC 令和5年7月4日
地方公共団体	『地方公共団体の情報セキュリティポリシーガイドライン(令和4年3月版)』 ⇒パスワード等による 暗号化 を行う等、情報資産の不正利用を防止するための措置を講じなければならない。	総務省 令和4年3月25日
産業社会	『サイバー・フィジカル・セキュリティ対策フレームワーク』 ⇒情報を 適切な強度の方式で暗号化 して保管する。	経済産業省 平成31年4月18日
中小企業	『中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン第3.1版』 ⇒サーバー、パソコン、電子媒体をディスクまたは ファイル単位で暗号化 する	IPA 2023年4月26日

政府・自治体

民間

参考：中小企業向けガイドラインでの「暗号化」説明

◆ IPAが2019年3月発行ガイドラインより「ファイル単位で暗号化」を追加

⑤暗号化

データや通信を暗号化することで覗き見（盗聴）、改ざん、漏えいなどを防止する機能を提供します。

●データ暗号化

特定の法則に基づいてデータを変換し、第三者に内容を知られないようにする技術。

例えば、サーバー、パソコン、電子媒体をディスクまたはファイル単位で暗号化することで、メール送信時の添付ファイルの盗聴、社外からの不正アクセスによるデータの持ち出し、パソコンや電子媒体の紛失や盗難などによる情報漏えいのリスクを軽減することができます。

出典：IPA 中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン第3.1版（全70ページ）
<https://www.ipa.go.jp/security/keihatsu/sme/guideline/index.html>



機密情報保護におけるお客様での課題

機密情報保護における課題



利用者の意識が低ければ意味を持たない



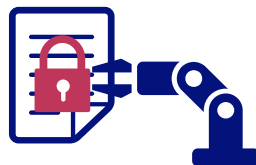
機密情報を保護しつつ利便性を保ちたい



システム運用できる人材がない

対策方向性

ファイルが流出する前提での仕組み作り



- 利用者に依存しない仕組み
- ファイルの自動暗号化

利用者の負担にならない利便性/操作性



- 暗号化したままファイル操作
- 従来通りの操作性・視認性

短期導入なサービスの活用



- 短期間で導入
- 24h365d専門家による運用

2. ActSecure

クラウドセキュアファイルサービス (CSF)

暗号化ソリューションの特長

データ
自動保護



様々なファイルの
データを自動保護

- ファイル自動保護
様々なファイルに対応
- ファイル操作ログ収集

利便性
そのまま



利用者にも負担にならない
利便性/操作性

- 復号せずに閲覧/編集
再暗号化が不要
- 日常のID/パスワードが
利用可能（都度入力不要）
- アイコンそのまま

簡単導入



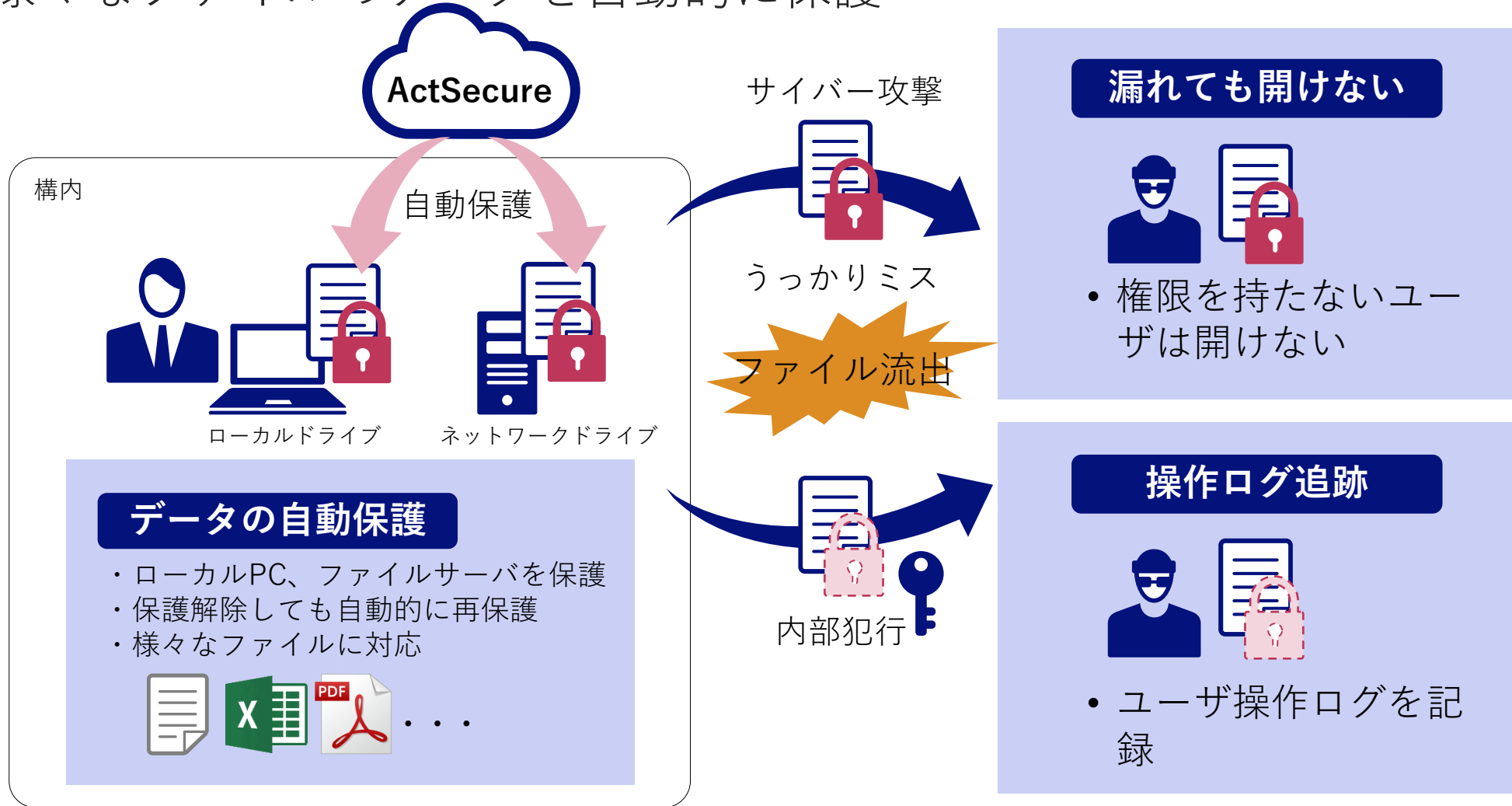
短期間での導入対応と
負担とならない運用性

- システム運用はNECが実施
- 最短5営業日で利用開始

特長 1. 『データの自動保護』でセキュアな経営基盤を確立



◆ 様々なファイルのデータを自動的に保護



特長 2. 利用者の操作は従来通り変わらない

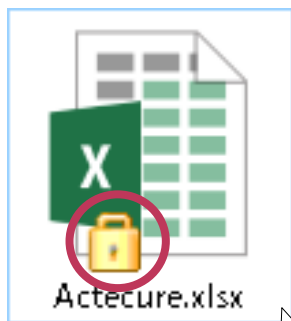
利便性
そのまま

◆ セキュリティを高めつつ、相反する操作性・視認性を確保



従来と変わらぬ
操作性・視認性

保護済みファイル
アイコン



既存のアイコンに
鍵マーク付与

操作性

- ・ アイコンクリックでアプリケーション起動
- ・ ID/パスワードの入力は不要
- ・ 保護したまま閲覧・編集



- ◎ 煩わしい保護解除が不要
- ◎ ファイル利用中の安全性を維持
- ◎ 再暗号し忘れのリスクが無い

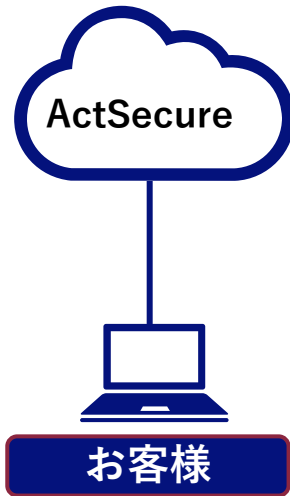
視認性

- ・ アイコンはアプリケーションイメージを維持
- ・ 鍵マーク付与で保護状態を簡単に視認
- ・ ファイル名、拡張子名も変わらない

特長 3. サーバ構築不要の『簡単導入』



◆ クラウドサービスによるファイル保護環境の提供



短期導入

- ActSecureでファイル保護機能をご提供
- お客様環境に必要なもの
 - ・クライアントソフトウェア
 - ・本サービスへ接続するInternet環境

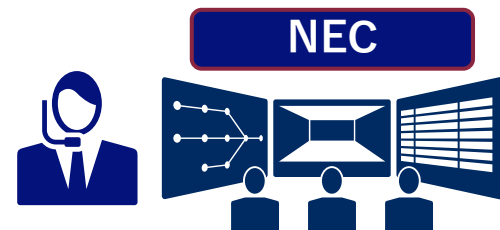
保守

- サーバ構築や保守が不要

サポート

- お客様サポート窓口を開設
- ファイル保護ルール変更、運用設定変更、調査など、NECが代行

[ActSecure サービスデスク]



お客様サポート

Microsoft AIP ラベル機能

- ◆ ラベルにより保護必要なファイルを設定ラベルに応じてファイル単位に保護可能

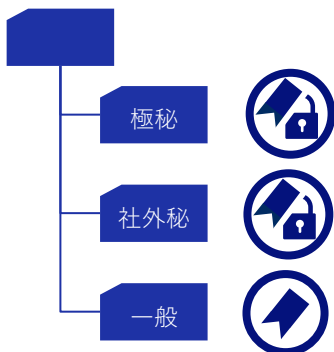
ラベル

ポリシーに則りラベルをファイル毎に自動付与（または手動付与）

ファイル内キーワードによる自動付与
(M365 E5の場合)



指定フォルダ格納による自動付与



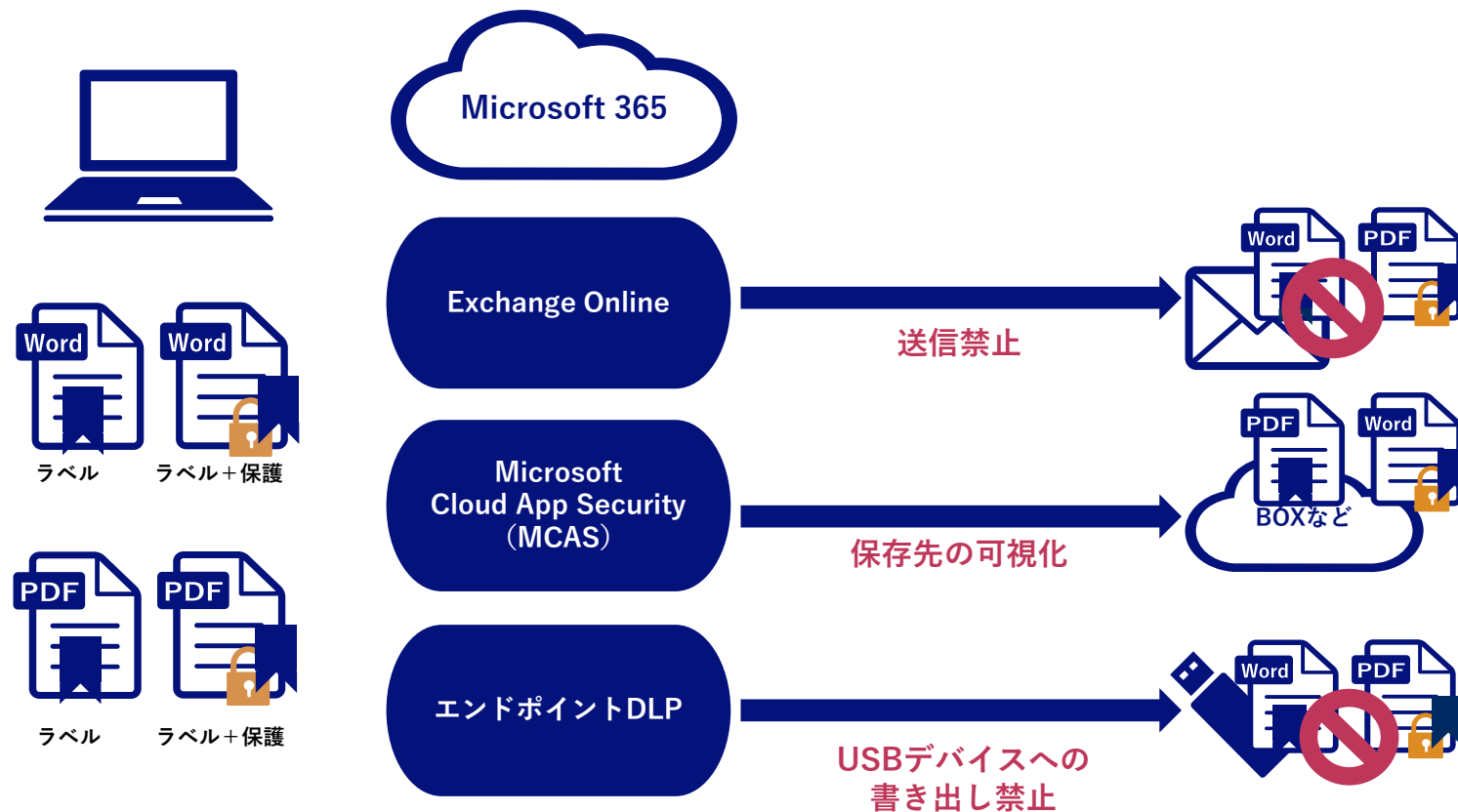
ラベル+保護

付与されたラベルに応じてファイル単位に保護制御

ラベル	暗号化	管理職	一般社員
極秘 	する	閲覧 編集	×
社外秘 	する	閲覧 編集	閲覧 編集
一般 	しない	アクセス 制限無し	アクセス 制限無し

ラベルで制御されるファイル保護

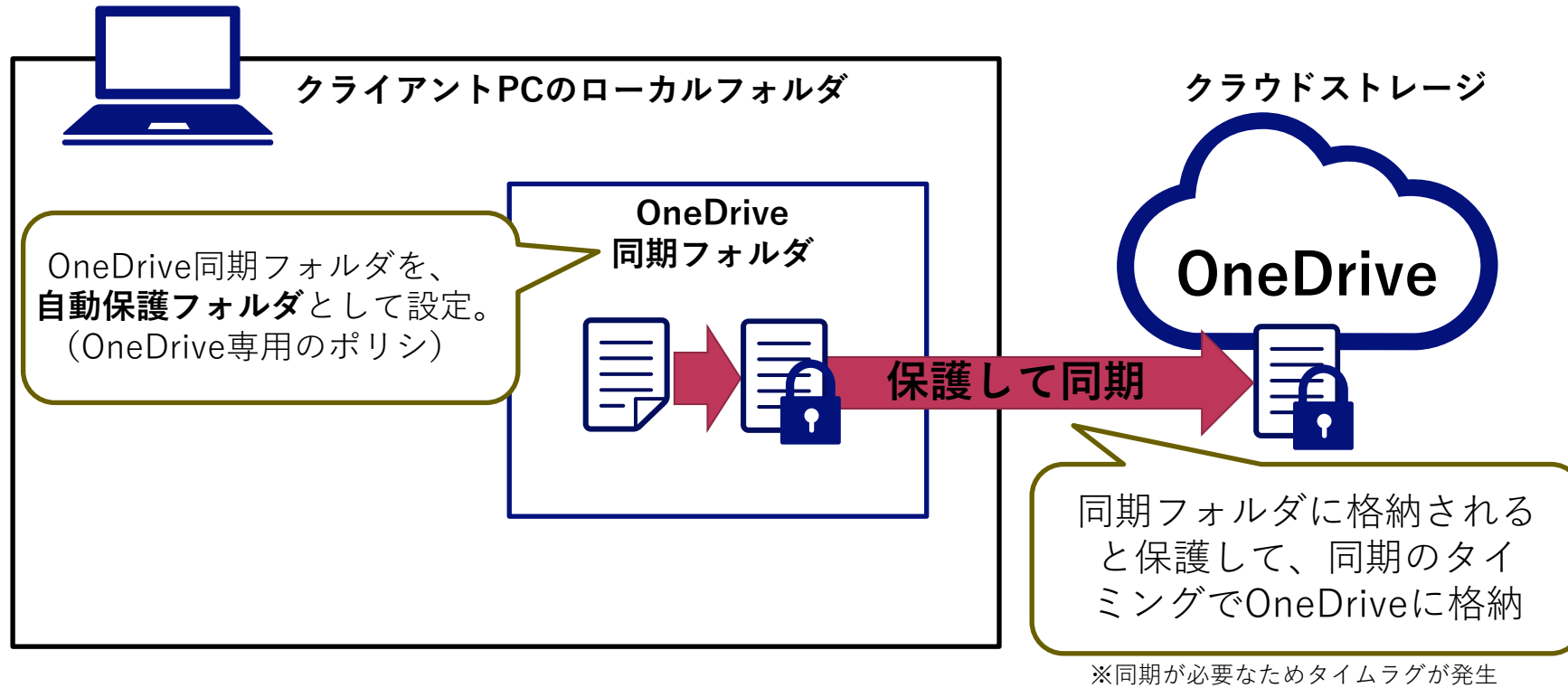
- ◆ Microsoft社の規格に準拠してOfficeとPDFを分類(ラベル、ラベル+保護)
- ◆ 様々なソリューションと組み合わせた制御が可能



※Acrobat または Acrobat Reader で 保護されたファイルを表示するには以下URLのプラグインが必要
<https://helpx.adobe.com/jp/acrobat/kb/mip-plugin-download.html>

(補足) OneDrive自動保護

- ◆ クライアントPCのOneDrive同期フォルダを介してOneDriveを自動保護
 - OneDriveに格納するファイルも、利用者は意識せず自動保護されるため、保護漏れを防止



※OneDriveを共有ファイルサーバとして利用する場合、代表者のクライアントPCまたは同期専用のクライアントPCを用意し、そのクライアントPCで同期フォルダの自動保護を実行

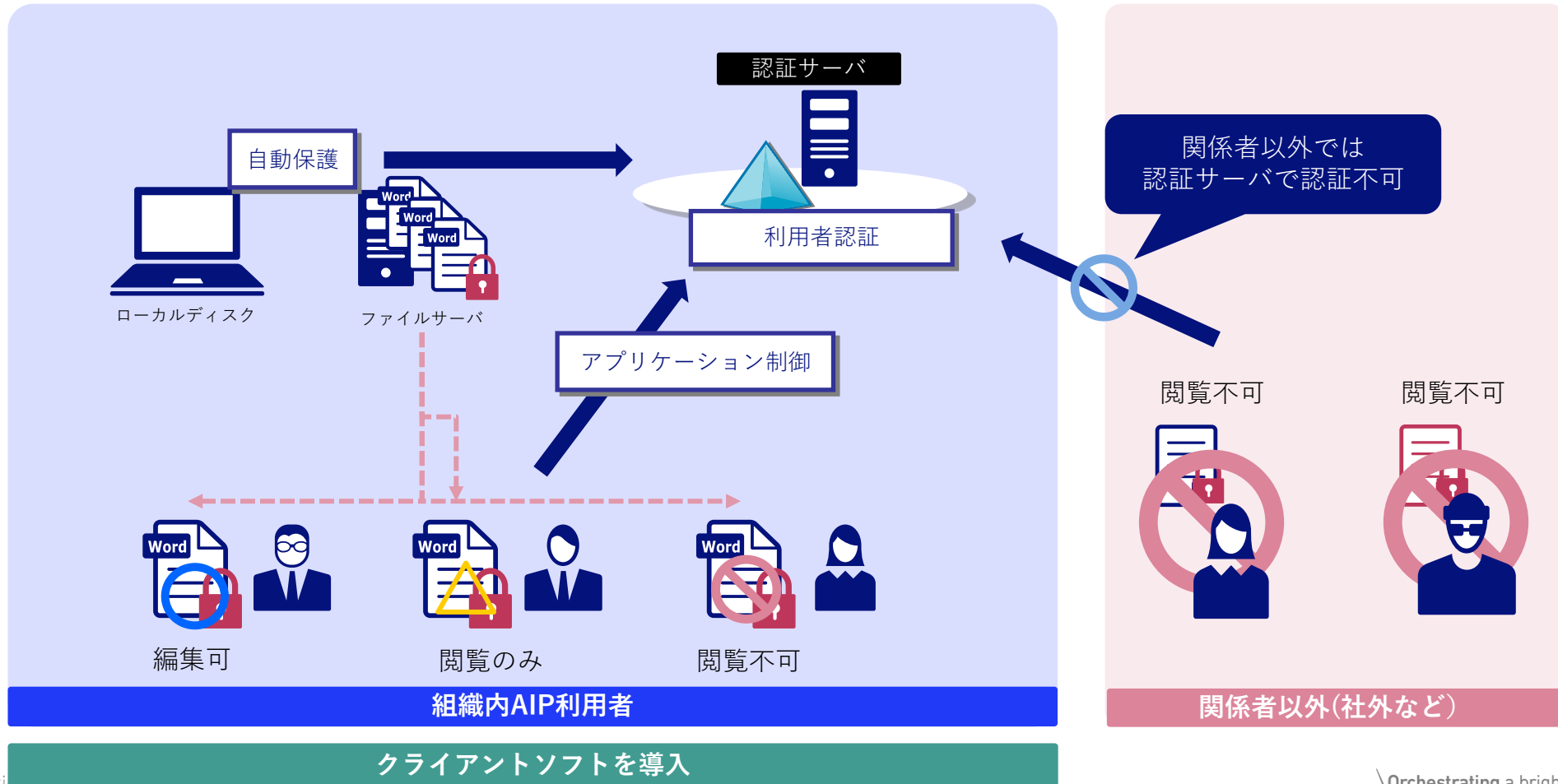
AIP単体利用との差異

- ◆ AIP単体利用でファイル保護が可能です。保護対象はOffice/PDFに限られます。
- ◆ 本サービスでは保護対象を限定せずその他のファイルもカバーします

		AIPのみ		AIP + CSF	
		Office/PDF	その他ファイル	Office/PDF	その他ファイル
保護ファイル状態	保護後のアイコン	○ 元アイコン維持	× 変わる	○ 元アイコン維持	○ 元アイコン維持
	保護後の拡張子	○ 元拡張子維持	× .pXXX	○ 元拡張維持	○ 元拡張子維持
保護ファイル動作	アイコンからアプリ起動	○ 元拡張維持	× 専用ビューア起動	○	○
	保護したままファイル編集	○	× 編集不可	○	○
ファイル自動保護	ラベル分類による自動保護 ※P1/P2: Azure Information Protection Premium P1/P2	P1(M365 E3) : × P2(M365 E5) : ○	×	P1(M365 E3) : × P2(M365 E5) : ○	×
	フォルダ指定による自動保護	△ AIPスキャナで巡回保護	×	○	○

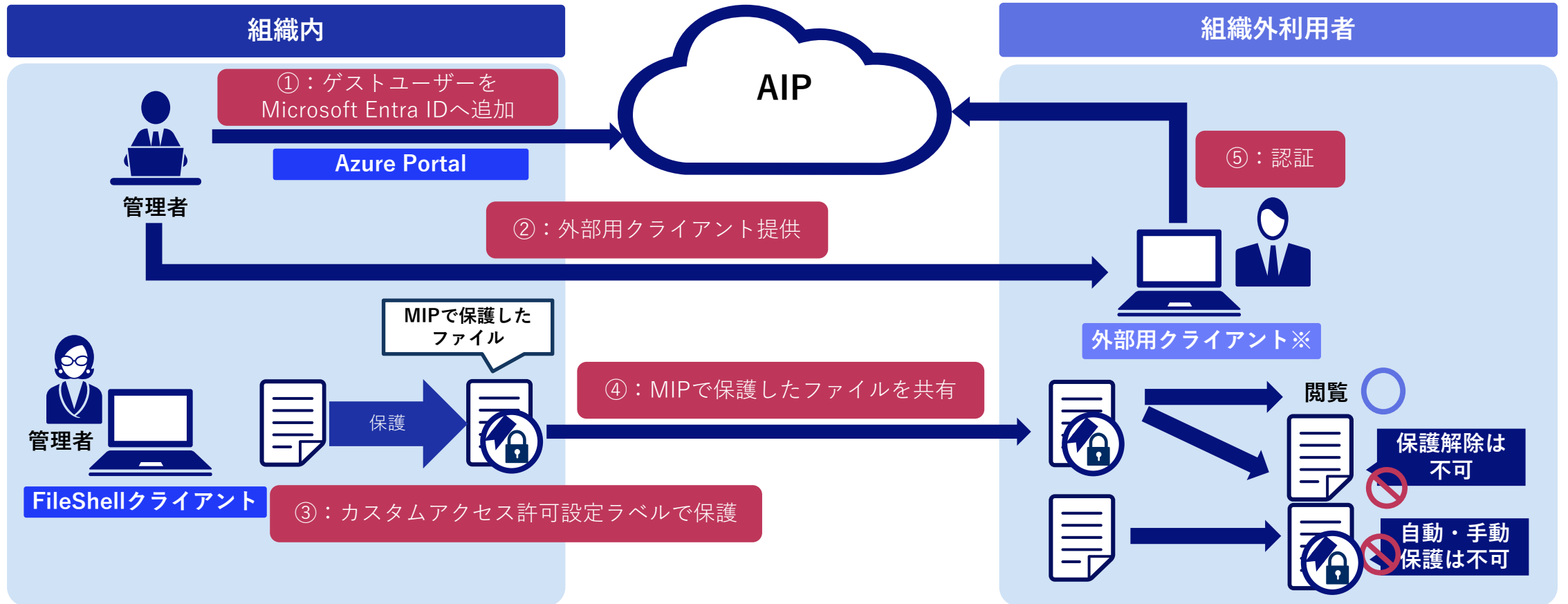
利用イメージ

- ◆ 認証サーバによる利用者認証でローカルディスクやファイルサーバのファイルを保護します。
- ◆ 利用者毎に許可された権限で、閲覧、編集、印刷、などのアプリケーション制御が可能です。



外部用クライアントの利用イメージ

- MIP/Azure RMSで保護されたファイルを外部共有クライアント閲覧する場合のイメージ



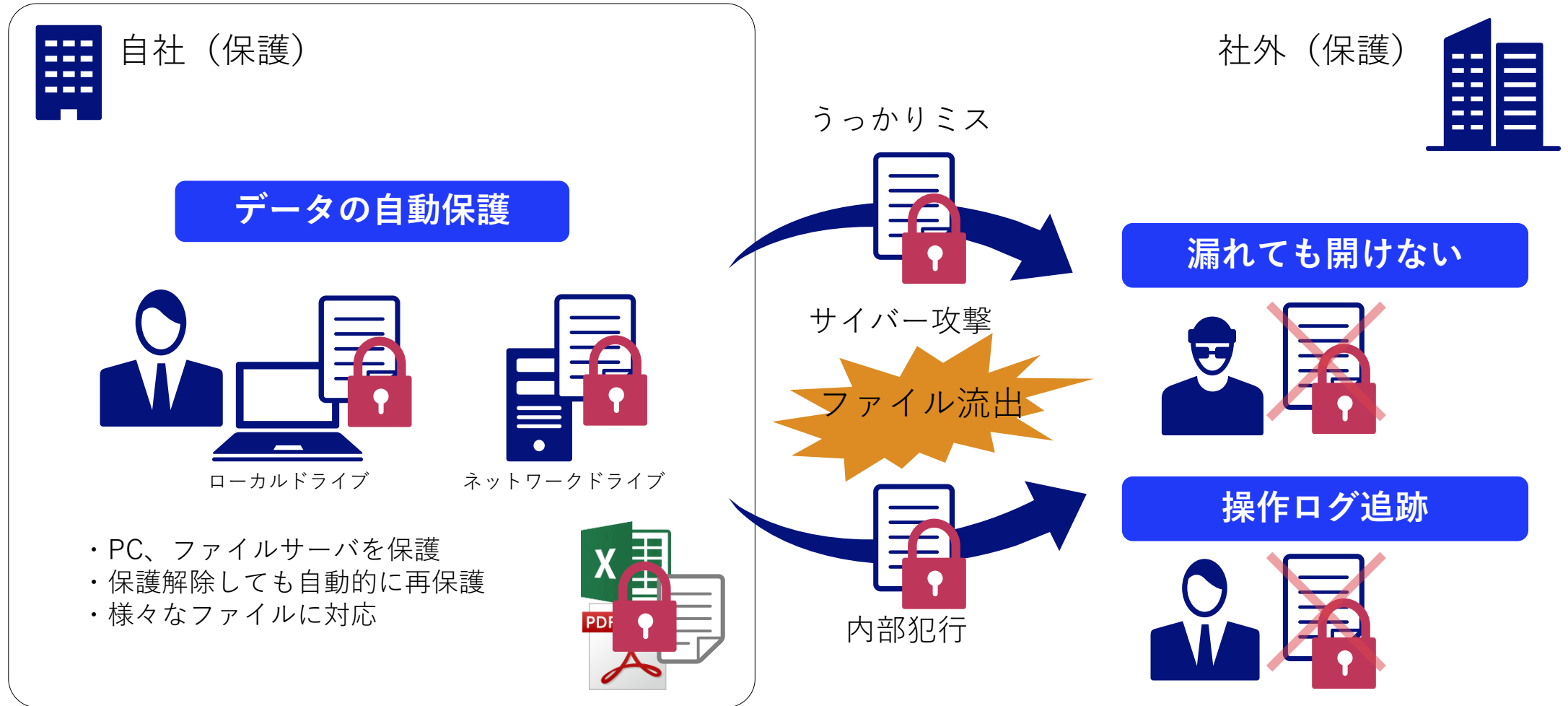
※ Microsoft Entra IDへゲストユーザーを登録しない場合、Officeファイルのみ参照可能となります。

※「外部用クライアント」は、購入ライセンス数範囲内となります。

ケース① 万が一の漏えいに備え社内のファイルをすべて保護

ポイント

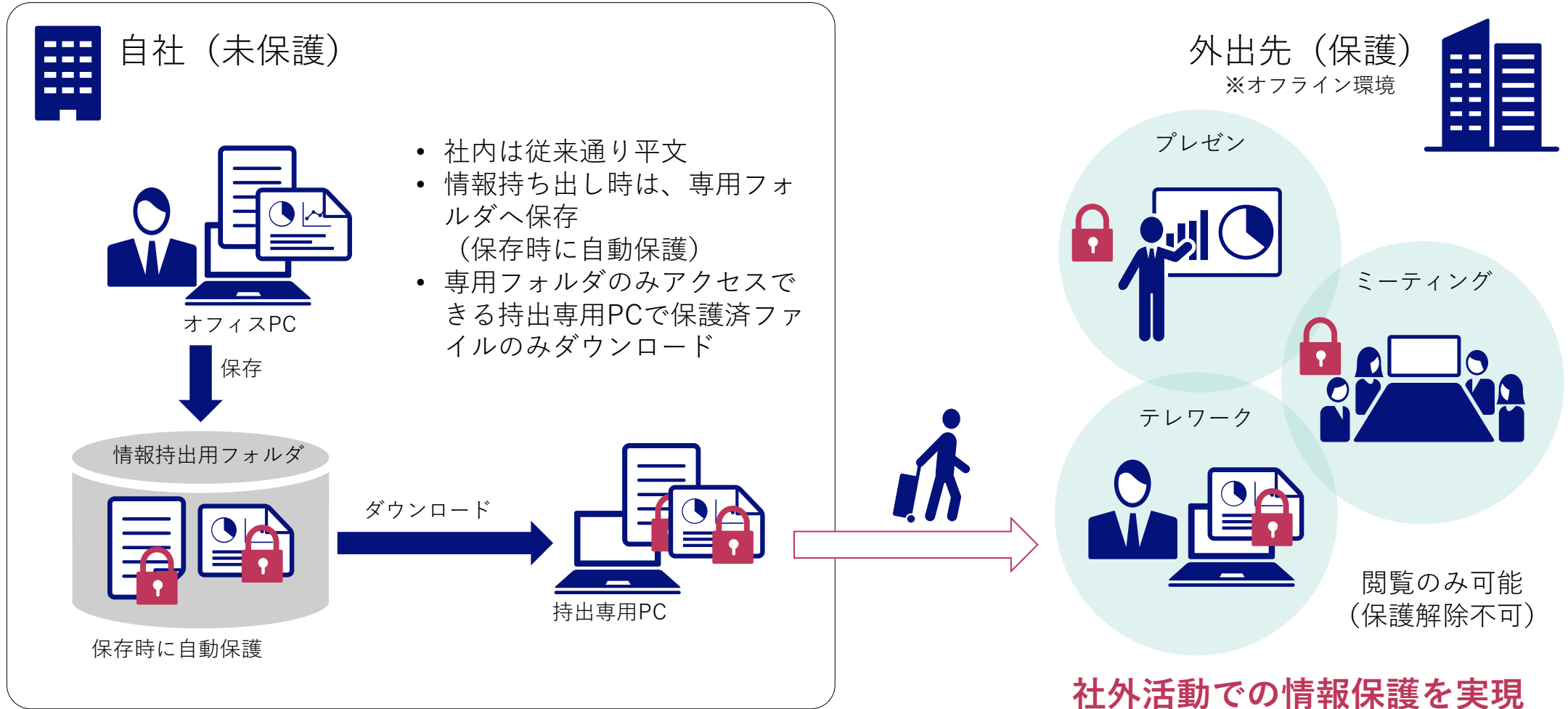
- ファイルはすべて自動保護。編集中も保護状態を維持
- うっかりミス、退職者による持ち出し、サイバー攻撃に有効



ケース② 営業用持出しPCの情報漏えい対策

ポイント

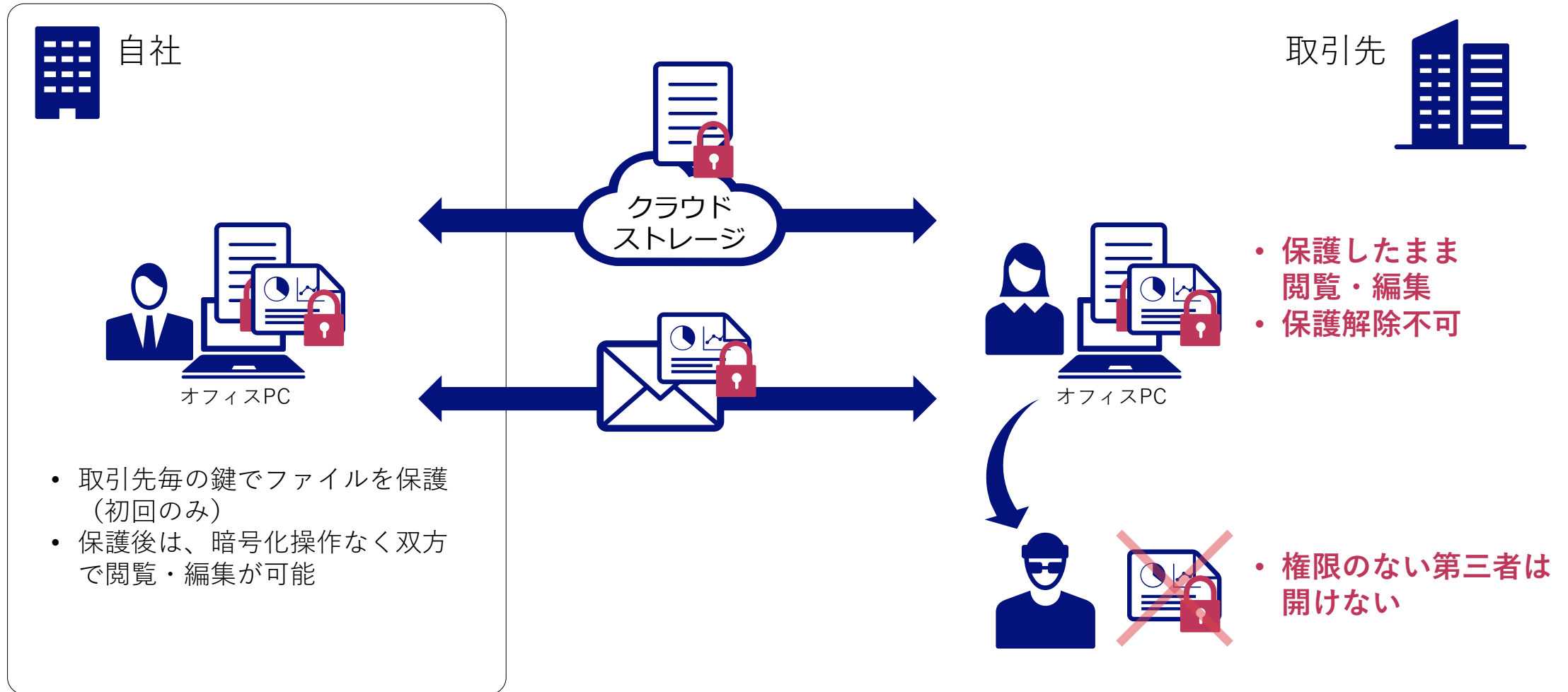
- 社外への持ち出し時のみファイルを保護
- 持出PCの紛失、盗難、情報抜き出しがあっても情報は漏れない



ケース③ 取引先との情報共有

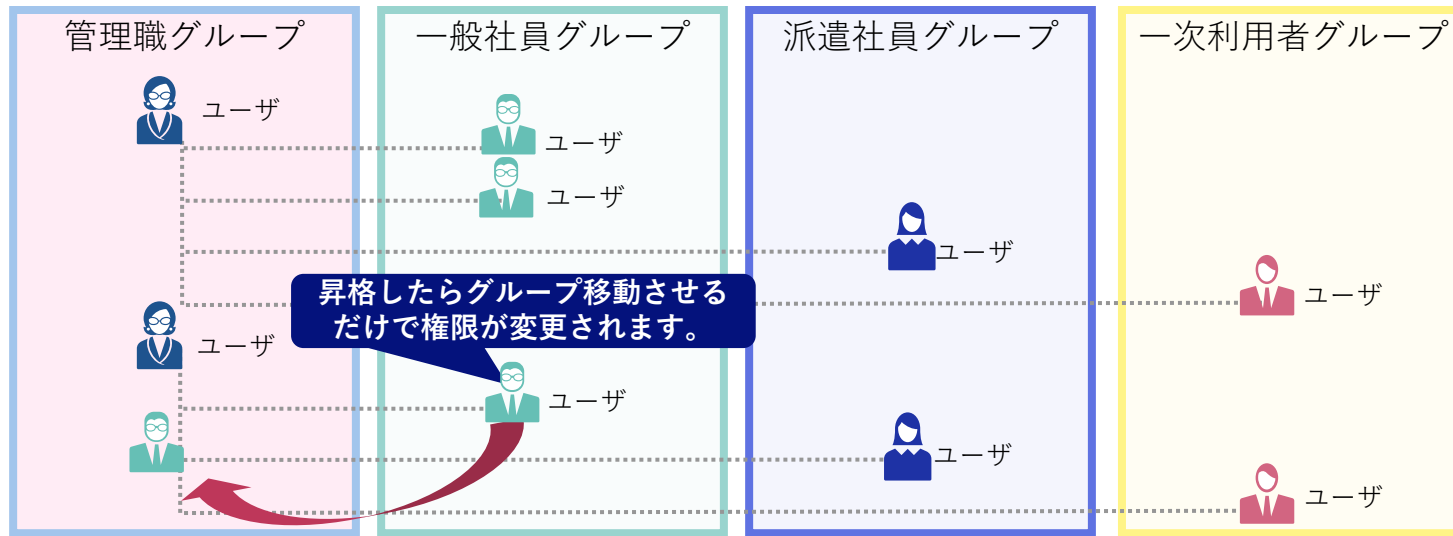
ポイント

- 特定の取引先との情報共有、共創、などに有効
- クラウドストレージやメールを介するときに都度暗号化/復号が不要



(ご参考) 利用者権限

- ◆ 組織情報 … グループ単位での権限制御をお勧めします。(ポリシー変更運用の効率化が可能)



- ◆ 閲覧・編集・フルコントロール権限例

制御される操作	基本操作				拡張操作	
	保護解除	閲覧	上書き保存	名前を付けて保存	印刷	抽出 (*1)
権限 (グループ)						
閲覧 (一時利用者)	×	○	×		×	×
編集 (派遣社員)	×	○		○	×	×
編集 (一般社員)	×	○		○	○	○
フルコントロール (管理職)	○	○		○	○	○

(*1) クリップボードコピー (OS標準のクリップボードコピーを無効化)、Print Screen (Print Screenキー押下を無効化)

標準対応アプリケーション

アプリケーション名	バージョン	文書形式	
Microsoft Office	Microsoft 365 Microsoft Office Professional Plus 2021 Microsoft Office Professional Plus 2019 Microsoft Office Professional Plus 2016	(Word)	docx、docm、doc
		(Excel)	xlsx、xlsm、xls
		(PowerPoint)	pptx、pptm、ppt
Windows 標準 メモ帳(*1)(*2)	—	txt、csv	
Windows 標準 ペイント(*1)(*2)	—	jpg、jpeg、jpe、jfif、tif、tiff、png、bmp、dib、gif	
Adobe Reader(*1)(*2)(*3)	Adobe Acrobat Reader DC(Continuous トラック) Acrobat Reader DC Classic トラック(2015 リリース) Acrobat Reader 2017(Classic トラック) Acrobat Reader 2020(Classic トラック)	pdf、fdf、xpdf	

(*1) アプリケーション単体での基本的な動作確認のみ実施しています。ご導入の際には事前に十分な動作確認を実施されることをお勧めします。アプリケーションに同梱される周辺アプリケーションや、拡張機能、連携アプリケーション等をご利用になる場合は、弊社営業、SEにご相談ください。

(*2) サポート言語は、日本語です。その他の言語での動作はサポートされません。

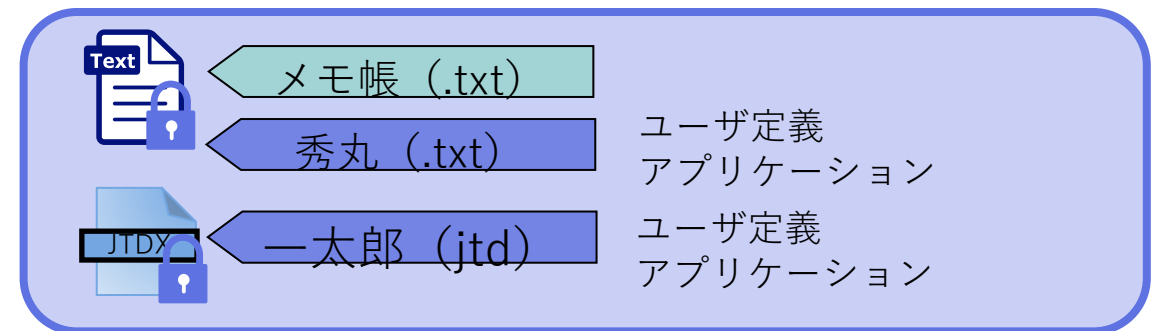
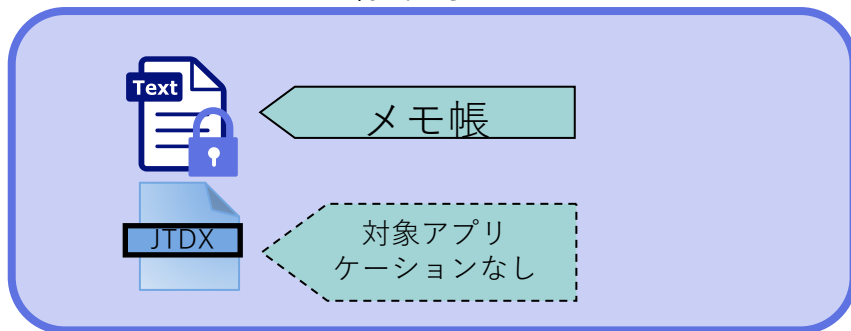
(*3) ラベルで保護された pdf ファイルを開く場合は、「MIP plug-in for Acrobat and Acrobat Reader」のインストールが必要です。

ユーザ定義アプリケーション

- ◆ 標準対応アプリケーション一覧にないアプリケーションとファイルをFileShell形式で保護可能。
 - 従来の標準対応アプリケーションにないアプリケーションを、FileShell管理者またはユーザーで追加可能。
 - 利用中のアプリケーションとファイル拡張子をユーザ定義アプリケーションとして登録可能。
 - 利用中のアプリケーションを対象にできることから使い慣れたアプリケーションで運用が可能。
- ◆ 標準対応アプリケーションとユーザ定義アプリケーションの違いは以下表の通り。

標準対応 アプリケーション	すべての（閲覧・保存・印刷・抽出・保護の解除）操作を制御可能。 （別名保存などしても、保護の状態を引き継ぐことが可能）
ユーザ定義 アプリケーション	閲覧・保護の解除を制御可能。保存・印刷・抽出の制御については、ユーザ定義で設定するアプリケーションの仕様により、制御できない場合がある。（アプリケーションの仕様で別名保存などすると平文に戻る場合あり）

標準対応アプリケーション



(ご参考) クライアントソフトウェアの動作環境

		Windows(*1)		
		10		11
		32bit	64bit	64bit
ハードウェア	CPU	1.0GHz相当以上のx86互換アーキテクチャのプロセッサ		
	メモリ	512MB以上		
	ハードディスク	クライアントインストールに120MB以上の空き容量が必要(*2)		
	ネットワークインタフェース	100Mbps以上(IPv4のみ)		
OS (*3)	エディション	Enterprise /Pro		
	サービスパック	2022 Update (Ver.22H2) November 2021 Update (Ver.21H2) (*4) LTSC 2021 LTSC 2019 2016 LTSC	2022 Update (Ver.22h2) Ver.21H2	
	言語	日本語 (英語等の多言語には未対応です)		
Microsoft Office(*5)		Microsoft Office 2016/2019/2021(Personal, Home&Business, Professional, Standard, Professional Plus) Microsoft Word 2016/2019/2021、Excel2016/2019/2021、PowerPoint2016/2019/2021の単独パッケージ品 Microsoft 365		

(*1)デスクトップアプリケーションにのみ対応しています。

(*2) このディスク容量の他に、ファイルを保護するためのディスク容量が別途必要になります。

(*3) Microsoft 社のサポート期限内であるOS が対象となります。

(*4) Windows 10 November 2021 Update (Ver.21H2)は Enterprise のみサポート対象となります。

(*5)32bit 版 / 64bit 版 ともに対応していますが、最新の更新プログラム (セキュリティパッチ等) が適用 されている状態での利用を基本とします。また、Microsoft Office365 ProPlus として提供されるものも含まれます。

(ご参考) クライアントソフトウェアの動作環境

必須ソフトウェア

Microsoft .NET Framework 4.7.2以上

Microsoft .NET Framework 4.7.2 日本語 Language Pack

Visual Studio 2015、2017、2019および2022用の Visual C++ 再頒布可能パッケージ
バージョン 14.28.29325 以上

- クライアント端末のOSが32bitOSの場合、32bit(x86)用を適用する
- クライアント端末のOSが64bitOSの場合、32bit(x86)用と64bit(x64)用の両方を適用する

Rights Management Service Client 2.1

- クライアント端末のOSが32bitOSの場合は、32bit(x86)用を適用する
- クライアント端末のOSが64bitOSの場合は、64bit(x64)用を適用する

Rights Management services 更新プログラム

- クライアント端末のOSが32bitOSの場合は、32bit(x86)用を適用する
- クライアント端末のOSが64bitOSの場合は、64bit(x64)用を適用する

Microsoft Office (Word、Excel、PowerPoint)

(保護されたMicrosoftアプリケーションのファイル进行操作する場合に必要)

Rights Management services 更新プログラム

(お客様システムでインターネット接続にプロキシサーバーを利用している場合に限り)

- クライアント端末のOSが32bitOSの場合は、32bit(x86)用を適用する
- クライアント端末のOSが64bitOSの場合は、64bit(x64)用を適用する

サービス費用

サービスメニュー		サービス利用料	備考
基本ライセンス	初期費用	オープン価格	ご契約単位当たりの費用です。 初期導入の準備作業です。
	月額費用	オープン価格	1ユーザ当たりの月額費用です。 最低契約数は 10 クライアントです。
簡易導入支援メニュー	AIPセットアップ	個別見積	
	CSFセットアップ	個別見積	

- 本サービスの契約手数料は不要です。
- サービス利用料には、お客様のクライアントにインストール等を行うソフトウェア利用料も含まれています。
ソフトウェアはダウンロード提供します。契約後にお客様に対してダウンロードサイトをご案内します。
また、サービスの契約期間中は、クライアントソフトに対するバージョンアップについても無償で対応します。
- サービスを利用する上で必要となる、インターネット接続に関する費用はサービス利用料に含まれておりません。
お客様にて別途手配されるか、既に所有されているものを利用することとします。
- AIPやMicrosoft Entra IDのライセンスは含まれません。別途手配が必要です。

ActSecureのサービス利用料・課金タイミングについて

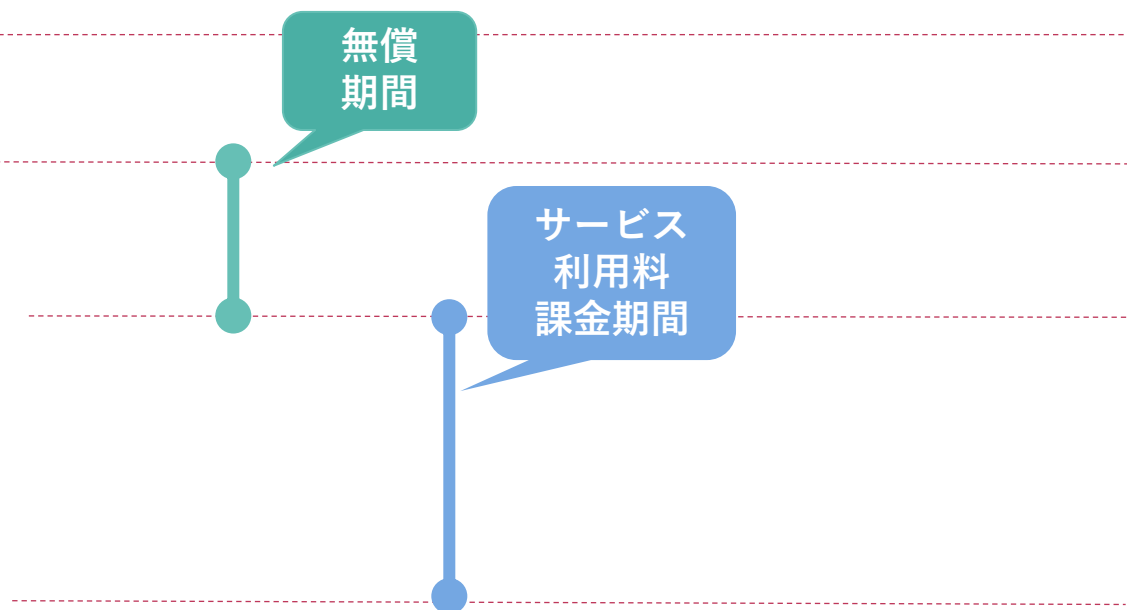
- ◆ サービス利用料は、本サービス側からお客様に連絡をする「サービス環境構築完了通知（サービス開始準備完了日）」から、**翌月1日より課金**されます。

◆ サービス申請書受領

◆ サービス環境構築完了通知
（サービス開始準備完了日）
※本サービス側の準備が完了できた日

■ 課金開始
（環境構築完了通知後、翌月1日）

■ サービス利用終了（月末まで）



例えば、サービス環境構築完了通知（サービス開始準備完了日）を7月10日とした場合、サービス利用料は8月1日から課金が始まります。

サービス契約の利用期間、更新及び解約について

- ◆ 本サービスの最低利用期間は契約日から1年間です。
- ◆ 本サービスは特に申出のない場合は、**利用契約は1年単位で自動で契約更新**されます。
- ◆ 本サービスの一時的な利用を休止、停止することはできません。サービスの解約になります。
- ◆ 本サービスの利用を解約する場合は、**解約を希望する月の3か月前までに書面にて通知することにより解約が可能**です。万が一、お客様側の急を要する都合にて解約を希望する場合、違約金を請求する場合がありますので、ご注意願います。
- ◆ 本サービスの**サービス利用料について日割りの対応は行いません**。本サービスの利用を解約する場合は、解約日に関わらず、その月の末日まで利用されるものとします。

サービスのご利用にあたっての注意事項

- ◆ 本サービスでは、ファイルの保護に関するルールはサービス側で既定している内容を利用することとします。お客様にて定義できる一部項目を除き、サービス側で既定している内容の変更はできません。
- ◆ ファイルを保護するにあたり、お客様にてご利用中のクライアントPCにおいて、OSやアプリケーションの動作に使用しているファイルが保護された場合、OSやアプリケーションが正常に動作しない可能性があります。ご利用のOS(仮想OS環境を含む)やアプリケーションをご確認いただき、OSやアプリケーションの動作に影響するファイルが、自動的に保護される範囲とならないように事前に確認の上、ご利用をお願いします。(本サービスでの事前確認のため、無償のトライアル環境をご利用ください。 での評価環境を貸し出しております。)
- ◆ サービスの特性上、ファイルに対して保護及び保護解除の動作が期待した状態にならず、場合によっては該当ファイルの内容が確認できなくなる場合があります。このような事象が発生した場合、本サービスにて原因等の確認のために該当ファイルの解析等を行います。その解析結果から、原因が例えばお客様にて利用しているアプリケーションソフトウェア等、本サービスに起因しない場合もあります。そのような事象が生じた際には、本サービスでは責任範囲外として、NECとしてそれ以上の責務を負わないものとします。そのため、ファイル保護に関して確実性が必要な場合はお客様で使用しているアプリケーションソフトウェアの技術サポートを受けられる状態での利用を推奨します。また、お客様にて経営上、業務上重要なファイルを扱う場合には、それらのファイルを自動保護対象外のフォルダ環境下でファイルの取扱いをしていただくことや複数でかつ定期的にバックアップファイルを取得しながら利用されることを推奨とします。

(ご参考) ActSecureポータル

◆ ポータルログイン

https://secm.actportal-nec.jp/AuthServer/AuthRequest

NECサイバーセキュリティ
サービスポータル

ユーザIDとパスワードを入力してください

ユーザID:

パスワード:



NEC サイバーセキュリティ サービスポータル ID: t-furukawaaj@nec.com ログアウト

ActSecure/ActSecure Xは
安全安心なオフィス環境を提供いたします

セキュリティサービスポータル
Security service portal

ActSecure

セキュリティコラム
Security column

セキュリティ脅威分析情報
Security threat analysis information



◆ ActSecureポータル

NEC ActSecure

お客様情報 通知 監視ログ チケット管理

承認待ち 0件

お知らせ

担当チケット

クラウドセキュリティサービス

マネージドセキュリティサービス

Copyright © NEC Corporation 2018. All rights reserved.

(ご参考) お客様にて定義できる設定項目例

項番	変更可能な項目概要	詳細
1	保護対象となる ファイル拡張子	ファイルを保護する対象のファイル拡張子をサービスにて推奨としている内容からの選択を設定します。
2	自動保護対象となる ローカルフォルダ	自動保護機能で、ファイルを保護する対象とする、ローカルフォルダを設定します。
3	自動保護対象外となる ローカルフォルダ	自動保護機能で、ファイルを保護する対象としない、ローカルフォルダを設定します。
4	自動保護対象となる 共有フォルダ	自動保護機能で、ファイルを保護する対象とする、共有ファイルフォルダを設定します。
5	自動保護対象外となる 共有ファイルフォルダ	自動保護機能で、ファイルを保護する対象としない、共有ファイルフォルダを設定します。
6	巡回保護対象外となる フォルダ	巡回保護機能で、ファイルを保護する対象としない、ローカルフォルダを設定します。
7	利用可能な アプリケーション ソフトウェア	保護されたファイルを操作するアプリケーションソフトウェアを設定します。

(ご参考) サービスにて既定するファイル保護に関する主な項目①

◆ ファイルを保護する場所

ファイルを保護する場所	自動でファイルを保護しない場所
右記に記載した「自動でファイル保護しない場所」を除いた、クライアントの「ローカルフォルダ」すべて[*1]	<ul style="list-style-type: none">・プログラムファイルフォルダ [*:¥Program Files、 *:¥Program Files (x86)]・プログラムデータフォルダ [*:¥ProgramData]・Windows フォルダ [*:¥WINDOWS]・ゴミ箱フォルダ [*:¥\$Recycle.Bin]・ALL ユーザのフォルダ [*:¥Users¥All Users]・ユーザのアプリケーションデータフォルダ [(ログインユーザのユーザフォルダ) ¥*¥AppData] [*¥¥Users¥*¥AppData]・Windows Update で使用するフォルダ[*2]・Windows 10 Anniversary Update で使用するフォルダ[*2] [*:¥\$GetCurrent、 *:¥\$Windows.~BT、 *:¥WINDOWS.OLD、 *:¥Windows10Upgrade]

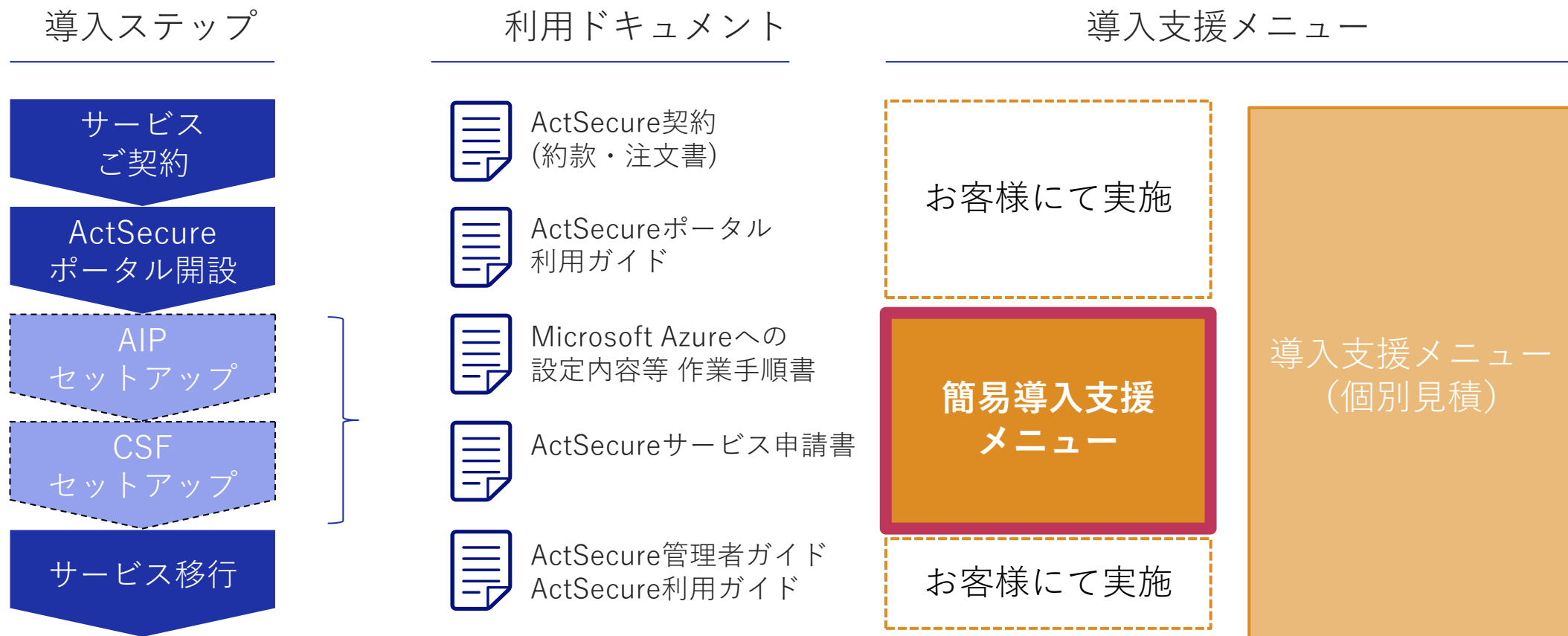
[*1] USBインターフェースを利用した外付けのハードディスクやUSBメモリ等のリムーバルメディアも含まれます。

[*2] ドライブ直下に存在する16文字以上の16進数値(0~9、A~F)を含むパスを指します。

3. 簡易導入支援メニュー

簡易導入支援メニューの位置付け

- ◆ 本サービスの提供するドキュメントにてセットアップが可能です
- ◆ 簡易導入支援メニューは導入支援メニューの一部であり、AIPとCSFセットアップが含まれます。

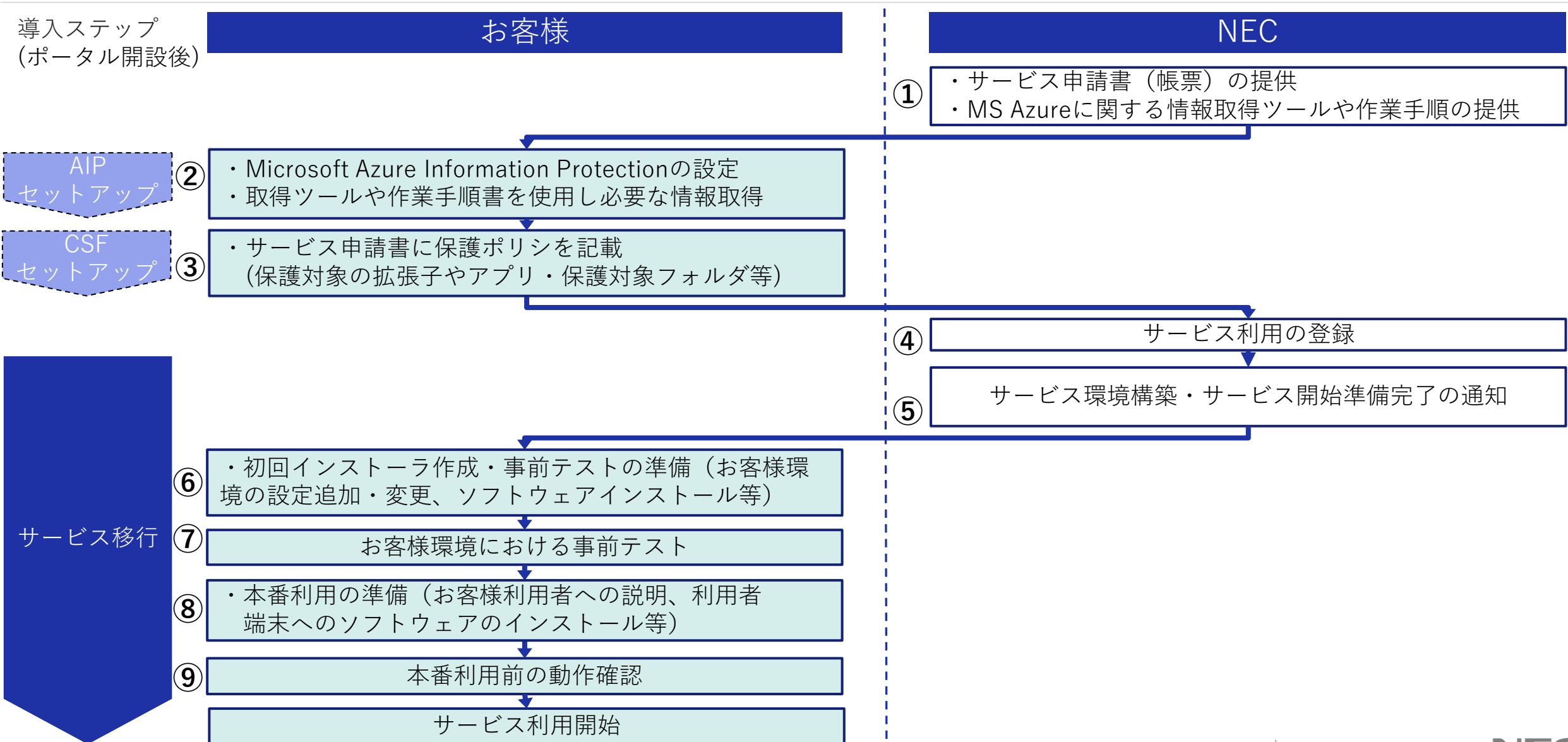


サービス利用開始までの流れ(導入支援無し)

凡例

お客様作業

NEC作業



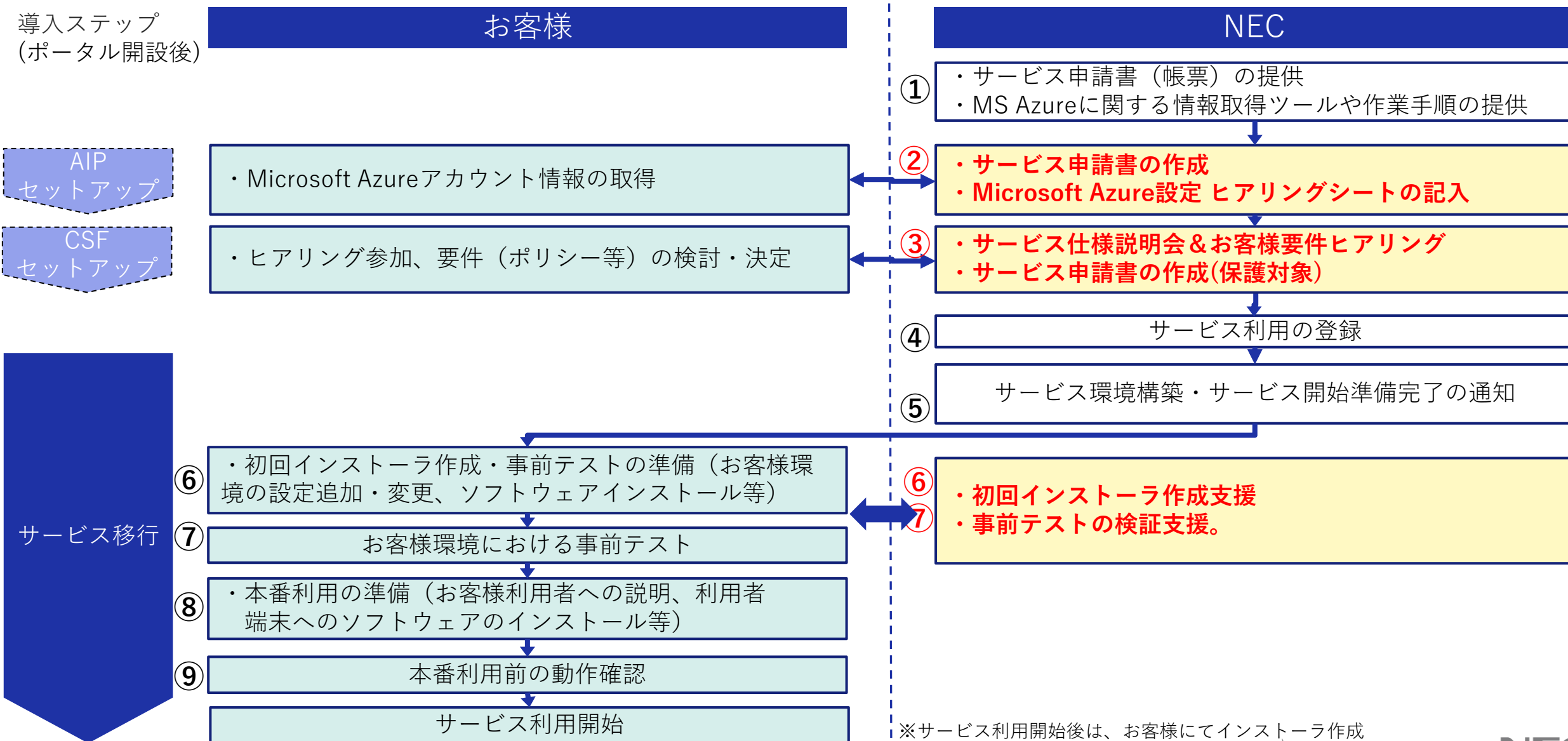
サービス利用開始までの流れ(導入支援有り)

凡例

お客様作業

NEC作業

導入支援メニューの作業



※サービス利用開始後は、お客様にてインストーラ作成

簡易導入支援メニュー・御見積内容

	支援メニュー	作業概要	サービス設定情報	成果物	価格(円)
1	AIPセットアップ	<p>お客様に記載いただく以下帳票を基にMicrosoft Azureの設定代行を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●作業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・サービス申請書の記入 ・Microsoft Azure設定 ヒアリングシートの記入 ●作業前提条件 <ul style="list-style-type: none"> ・Microsoft Azureの基本設定およびユーザ登録は完了していること 	<ul style="list-style-type: none"> ●設定情報 <ul style="list-style-type: none"> ・権利ポリシーパターン作成 ・ラベル登録 ・アカウントのグルーピング (権利ポリシーへのマッピング) 	動作確認 結果報告	個別見積
2	CSFセットアップ	<p>お客様の業務要件をヒアリングし、サービスに設定する情報を決定する作業を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●作業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・サービス仕様説明会 & お客様要件ヒアリング (打合せ2H×1回) ※申請書に記載する保護対象フォルダやファイル拡張子の検討を支援。 ・お客様要件ヒアリング2 (打合せ2H×1回) ※お客様検討事項の反映・決定 ・初回インストーラ作成支援・事前テスト検証支援 ※オンライン (リモート会議等) でお客様が実施する検証を支援 ※検証支援作業期間は最大2日間 ●作業前提条件 <ul style="list-style-type: none"> ・お客様が暗号化対象ファイルの拡張子やアプリケーション、保護対象フォルダを把握し、ヒアリング時に情報提供が可能なこと ※暗号化対象ファイルの拡張子やアプリケーションは、原則本サービスの標準対応拡張子とアプリケーションから選択する。 ・事前テストはお客様が作成した検証計画や検証内容 (検証項目・検証方法) に沿って実施すること 	<ul style="list-style-type: none"> ●設定情報 <ul style="list-style-type: none"> ・保護対象ファイルの拡張子 ・保護対象フォルダ ・保護対象アプリケーション 	サービス申請書	個別見積
				合計	個別見積

\Orchestrating a brighter world

NECは、安全・安心・公平・効率という社会価値を創造し、
誰もが人間性を十分に発揮できる持続可能な社会の実現を目指します。

\Orchestrating a brighter world

NEC